

基本設定確認マニュアル

対象 Macintosh システム

OS : 漢字Talk7.5.5 ~ MacOS8.6

TCP/IP アプリケーション : TCP/IP

PPP アプリケーション : O/TPPP (OpenTransportPPP)、リモートアクセス ConfigPPP ver2.1.3 以上、FreePPP ver2.5x 以上 (ともに英語版)

MacTCP や InternetConnect など、上記以外のアプリケーションに関しては、ODN サポートセンターではサポートさせていただいておりません。あらかじめご了承ください。

MacOS に標準でインストールされている O/TPPP (OpenTransportPPP) もしくはリモートアクセスの使用推奨いたします。

別途資料ご用意のお願い

FAXBOX からお客様がお使いのシステムにあわせて、以下から資料を併せてご用意してください。

BOX ナンバー 521 ConfigPPP+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 523 FreePPP2.5+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 525 FreePPP2.6.2+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 526 OT/PPP 接続マニュアル

BOX ナンバー 527 リモートアクセス接続マニュアル

設定確認の流れ

5項目に分けて解説をいたします。この様に分けて考えると、問題が生じた時に、整理して考えることが出来ます。

STEP1

機材のセッティング

モデム / TA と Macintosh、電話線を接続

TCP/IP、PPP アプリケーションが無い場合はどこから手に入れなければなりません

STEP2

アプリケーションの確認

インターネットへ接続するために必要なアプリケーションの確認

場合によってはTCP/IP、PPP アプリケーションをインストールしなおす事もあります

STEP3

インターネット接続の設定

接続 ID や接続パスワードなどの設定

接続出来ない場合は設定と配線などを確認

STEP4

アクセスポイントへ接続

モデム / TA が正しく動作し、接続

ホームページが見れない場合は、接続がしっかり出来ているか確認、設定の確認もチェック

STEP5

実際に出来るかどうか

ブラウジング (ホームページを見るという方法でインターネットを試してみましょう)

STEP1. 機材のセッティング

電話線 モデム / TA Macintosh の接続

壁にあるモジュラージャック（電話線の口）からモジュラーケーブル（電話線）をモデム / TA に接続し、Macintosh のシリアルポート（もしくは USB ポート）とモデム / TA を接続します。
内蔵モデム、PC カードモデムなどは直接電話線を接続します。

Macintosh 側のポートの種類

1. モデムを接続するシリアルポートの種類

「モデムポート」

- ・内蔵モデムの機種には無いものもある
- ・最近の機種には無い（iMac には無い）



「プリンタポート」

- ・本来はプリンタのためのポート
 - ・モデムを接続しても使える
 - ・最近の機種には無い（iMac には無い）
- Macintosh のシリアルポートにはモデムポートとプリンタポートの 2 種類があります。
どちらに接続しても結構ですが、基本的にはモデムポートへ接続します。



「モデム / プリンタポート」

- ・PowerBook にあるポート
- ・最近の PowerBook には無い



「内蔵モデム」

- ・直接電話線を差し込むだけで OK

2. PC カードスロット

- ・デスクトップに右のアイコンが表示されれば、認識されている
 - ・カード専用ケーブルに電話線を直接接続（カードにより異なる）
- PowerBook 用のカードモデムの場合はカードスロットに差し込んでください。
スロットが 2 つある場合は上下どちらに差し込んでかまいません。



3. USB ポート

- ・最近の機種はシリアルポートの代わりに装備
 - ・USB 対応のモデム / TA でなければ使用不可
- USB ポートで接続する場合はお使いのモデム / TA にも USB ポートがなければ接続できません。
お使いのモデム / TA のメーカーにお尋ねください。

モデムを接続する際の注意点

1. LINE と PHONE

- ・LINE には壁から引いてくる電話線を接続（PHONE には電話器への電話線を接続）

2. 電話線の長さ

- ・3 ~ 4m くらいが妥当 長過ぎるとノイズなどにより、正常な通信が出来ない事がある

3. 二股ソケットなど

- ・壁からモデムまでは何も挟まず 1 本のケーブルで！
二股ソケットや電話器や FAX などの中継させるとノイズにより正常な通信が出来ないことがあります。
- ・内蔵モデムの場合は Ether ポートと間違えない様にしてください。（Ether ポートの無い機種もあります。）
Ether ポートについてはお使いの Macintosh の取り扱い説明書をご覧ください。

4. 電話線を這わせる場所

電話線の中は電気信号が通っています。外部から影響が加わると信号が正常に送受信出来ない可能性があります。

TA を接続する際の注意点

1. 電話線を差し込むポートは似たようなポートがいくつかありますので注意してください

2. ダイヤルアップルーター

ダイヤルアップルーターというルーターの機能も兼ね揃えた機種もあります。Ether ポートと非常に似ていますのでダイヤルアップルーターをお使いの方は確認をしてください。詳しくはお使いのダイヤルアップルーターの取り扱い説明書をご覧ください。ダイヤルアップルーターとしての設定は、お使いの TA メーカーにお尋ねください。この資料では一切触れておりません。サポートセンターでもご案内はさせていただいておりません。

STEP2. アプリケーションの確認

必要なアプリケーションは揃っているか

インターネットへ接続するために必要な「TCP/IP アプリケーション」と「PPP アプリケーション」が正常にインストールされているかを確認します。

MacOS 標準の「TCP/IP」「モデム」「リモートアクセス(もしくはPPP)」の場合

漢字Talk7.5.5以降のOSには標準でインターネットに必要なアプリケーションが含まれています。

標準でOSにインストールされていますので、別途手に入れるという事はないと思います。

確認方法その1

1. アップルメニュー(画面左上端にあるリンゴマーク)をクリックして、プルダウンメニューを出す。
2. その中のコントロールパネルを選択すると、その右側にサブメニューが出てきます。
3. そこにTCP/IP、モデム、リモートアクセス(もしくはPPP)の3つの名前を確認出来れば次のステップへ。

確認方法その2

1. デスクトップ右上にあるMacintoshHD(ハードディスク)をダブルクリックで開きます。
2. その中にあるシステムフォルダをダブルクリックして開く。
3. その中にあるコントロールパネルをダブルクリックして開く。
4. そこにTCP/IP、モデム、リモートアクセス(もしくはPPP)の3つの名前を確認出来ればステップへ。

もし、違う場所にあった場合はコントロールパネルへ入れて再起動して次のステップへ。

もし一つでも足りない場合は、メーカー(アップル・コンピュータ)へお問い合わせください。

「TCP/IP」「FreePPP」の組み合わせの場合

FreePPPはフリーウェアとして、雑誌付録のCD-ROM等から手に入れることができます。

MacOS標準の「TCP/IP」「モデム」「リモートアクセス(もしくはPPP)」がインストールされている場合はFreePPPをインストールする必要はありません。

確認方法

TCP/IPは上記のMacOS標準の場合と同じです。

FreePPPは3つ確認する必要があります

FreePPP

1. MacintoshHDを開く
2. 機能拡張フォルダを開き、この中にFreePPPを確認出来ればOK

FreePPP Setup

これはどこに入っても良いものです。インストールする際にどこへ入れましたか?

FreePPP Menu(これはインストールされていなくても動作に支障はありません)

これもどこに入っても良いものです。インストールする際にどこへ入れましたか?

「TCP/IP」「ConfigPPP」の組み合わせの場合

ConfigPPPもフリーウェアとして、出回っていましたが、最近では見かけることが少なくなりました。

一部のMacintosh Paformaシリーズにバンドルされていた事もありました。

確認方法

TCP/IPは上記のMacOS標準の場合と同じです。

ConfigPPPは2つ確認する必要があります。

PPP

1. MacintoshHDを開く
2. 機能拡張フォルダを開き、この中にPPPを確認出来ればOK

ConfigPPP

1. アップルメニュー(画面左上端にあるリンゴマーク)をクリックして、プルダウンメニューを出す。
2. その中のコントロールパネルを選択すると、その右側にサブメニューが出てきます。
3. その中に確認できればOK

STEP3. インターネット接続の設定

各設定における注意事項

お使いのシステムの資料の通りに設定を行って下さい。

その際の注意点を簡単に説明します。

BOX ナンバー 521 ConfigPPP+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 523 FreePPP2.5+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 525 FreePPP2.6.2+TCP/IP 接続マニュアル

BOX ナンバー 526 OT/PPP 接続マニュアル

BOX ナンバー 527 リモートアクセス接続マニュアル

「TCP/IP」に関して（共通）

Q. 経路先で PPP（もしくはFreePPP、MacPPP）が選択できない

A. 「コントロールパネル」内の「モデム」を開くと必ずエラーが出ますのでその指示に従い「モデム」を設定後、「TCP/IP」を開けば経路先に「PPP（もしくはFreePPP、MacPPP）」が選択できるようになる場合があります。

Q. ネームサーバアドレスの設定で2行目にいかない

A. キーボードのreturnキーを押して下さい。

Q. 設定を入力すると、ビープ音が鳴りエラーがでる

A. ピリオド「.」とカンマ「,」を間違えて入力されていませんか？インターネット接続設定に出てくる点「.」はすべてピリオドです。キーボードにより若干キーの配置が違う場合があります。まず間違える事はないとは思いますが、右下にあるひらがなの「る」のキーを使っていたら間違いは少ないと思います。

「モデム」に関して

Q. 自分の使っているモデムの名前が無い

A. ご購入されたモデム/TAと一緒にフロッピーもしくはCD-ROMが入っていると思います。その中からモデムのドライバ(CCLファイル)をインストールしていただく必要があります。

詳しくはモデム/TAの取り扱い説明書をご覧になるか、モデム/TAのメーカーにお尋ねください。

Q. 似たようなモデム/TAの名前が複数存在する

A. <モデムの場合>

モデムによってはいろいろな速度のドライバ(CCLファイル)があります。モデムの取り扱い説明書をご覧になり適切なものをお選びください。

A. <TAの場合>

TAは3種類の速度で接続が可能です。ですので、3種類のドライバ(CCLファイル)がある場合があります。

現在ODNでは同期64kの接続になりますので、取り扱い説明書をご覧になり同期64kの物をお選びください。

Q. トーンかパルスかわからない

A. NTTとトーンの契約なのかパルスの契約なのかという回線種別の事です。

インターネットで使う電話回線の口(モジュージャック)に電話器を接続し、受話器をもって、ダイヤルしてみてください。受話器から「ピポパ...」というような音が聞こえればトーンです。「ジージー...」というような音が聞こえればパルスです。ISDNはトーンになります。

NTTに確認するのが一番確実です。

STEP3. インターネット接続の設定

「リモートアクセス (もしくは PPP)」に関して

Q. ユーザー名・パスワード入力するところが無い。

A. ウィンドウの右下のところに、三角のボタンの様なものがあります。それが右を向いているとユーザー名・パスワードは隠れてしまいます。クリックして下向きに変えれば表示されます。

A. 「登録利用者」と「ゲスト」というラジオボタン (チェックをつけるところ) の「ゲスト」にチェックが入っていませんか? 「登録利用者」をチェックしてください。

Q. リモートアクセスというウィンドウで、「待機しています。」という文字と接続ボタンしか無い

A. リモートアクセス状況というものを開いてしまっているかもしれませんので、コントロールパネルの中のリモートアクセスというものを開いて下さい。

Q. アクセスポイントの電話番号にハイフン () は入れなければならないですか?

A. 入れても入れなくてもどちらでも結構です。一般的に入れない場合が多いようです。

「FreePPP」に関して

Q. 接続パスワードを入力しても「*****」となってしまう、表示されない

A. パスワードを入力すると (*) で表示されます。他人に見られない様にしている為です。実際にはキー入力されていますので問題はありません。

Q. AT コマンドがわからない

A. お使いのモデム / TA の取り扱い説明書に載っているはずですので、確認してください。
分からない場合はモデム / TA メーカーにお尋ねください。

Q. アクセスポイントの電話番号にハイフン () は入れなければならないですか?

A. 入れても入れなくてもどちらでも結構です。一般的には入れない場合が多いようです。

「ConfigPPP」に関して

Q. 接続パスワードを入力しても「.....」となってしまう、表示されない

A. パスワードを入力すると (.) で表示されます。他人に見られない様にしている為です。実際にはキー入力されていますので問題はありません。

Q. アクセスポイントの電話番号にハイフン () は入れなければならないですか?

A. 入れても入れなくてもどちらでも結構です。一般的に入れない場合が多いようです。

Q. 設定の画面が少し違う様なのですが

A. ConfigPPP にはいろいろなバージョンがあります。ODN サポートセンターではバージョン 2.1.3Sdb2 (MacPPP2.5 とも呼ばれています) を参考にしています。他のバージョンでも設定はほとんど変わらないと思います。

ODN サポートセンターでは他のバージョンの設定案内等は一切させていただいておりません。

STEP4. アクセスポイントへ接続

モデム / TA が正常に動作し、接続へ

お使いのシステムの資料（接続マニュアル）の通りに接続を行ってみてください。

進行状況が表示されます。この変化していく状況のどこの部分でエラーが表示されるかにより、ある程度の原因の推測ができます。

「リモートアクセス（もしくはPPP）」の場合

リモートアクセスの「接続」ボタンをクリック

「待機しています。」

「0088333333 をダイヤル中 ...」

「48000bps で接続中 ...」

「PPP の処理を始めました。」

「認証中です。」

接続に成功すると「接続速度：」や「接続先：」や「接続時間：」などが表示されます。

「FreePPP」の場合

FreePPP Setup の「Connect」ボタンをクリック

「Looking for modem...」

「Dialing 0088333333...」

「Establishing Communication...」

「Logging on...」

接続に成功すると「Connect」ボタンが「Disconnect」に変わり、その左側の地球のマークが回り出します。

「ConfigPPP」の場合

「開く」ボタンをクリック

「モデムの検索中」

「ダイヤル中 ...」

「接続に成功しました ...」

「ログオン状態 ...」

「成功 ...」

接続に成功すると「閉じる」ボタンがクリック出来るようになり、左上にある「PPP DOWN」という表示が「PPP UP」となり、笑顔に変わります。

もし、エラーメッセージが表示されたら...

「接続が出来ない」「ホームページが見れない」など、エラーが表示される（もしくは何も反応がない）場合は、まず設定を再度ご確認ください。

また、トラブルシューティングの資料をFAXBOXにご用意させていただいておりますので、ご参考にいただければと思います。

BOX ナンバー 211 インターネット接続トラブルシューティング（Macintosh）

STEP5. 実際出来るかどうか

実際にホームページを見てみましょう

接続が出来ても、「どうやって見ていいのかわからない」=「見れない」と勘違いすることが非常に多いです。回線が繋がっても、何もしなければもちろん何も見えません。「何を」「どのように」「どうやって」「出来た」「出来なかった」ということを確認してください。ここでは、「ホームページを見る」という方法で、「インターネットが出来る状態なのか」を確認します。

ブラウザの確認

ブラウザとはホームページを見る為のアプリケーションの総称です。

Macintoshには2つの有名なブラウザがあります。

ネットスケープ社の NetscapeCommunicator (NetscapeNavigator)

マイクロソフト社の InternetExplorer

どちらも、ブラウザとしてあまり違いはありません。

ブラウザは基本的には最初からコンピュータに入っていません。

ただし、最近のOSは最初からインストールされているものもあります。どこに入っているのかはコンピュータによって様々ですので、ハードディスクの中身を探してください。

もし、無い場合は手に入れる必要があります。最近雑誌の付録のCD-ROMに入っている事が多いので、そういった雑誌を購入してインストールする方法もあります。

インストールするには「どこへインストールするのか?」とコンピュータに聞かれますので、必ずどこにインストールしたのかを覚えて下さい。

インストール方法は各雑誌を参照ください。(ODNサポートセンターではわかりません)

お使いのコンピュータのスペックによっては動かない場合もあるかもしれません。

各ブラウザの対象機種や推奨環境(メモリやハードディスクの空き容量など)をご確認ください。

ブラウザを起動する

実際の起動方法ですが、コンピュータの環境によって様々です。ここでは一番確実な方法を案内します。

1. ブラウザ本体がどこに入っているのか確認

元々入っている場合はハードディスクのどこかに入っているはずですが。

ご自身でインストールなさった場合は入れた場所を開くと見つかるはずですが。

その中にアプリケーション本体が入っています。

似たようなものでエイリアスと呼ばれるものがあります。名前が斜体(例.)に

なっています。本体ではありません。(アイコンは本体と同じです)ダブルクリックすると、本体をダブルクリックすることと同じ役割をするもので、デスクトップへ置いておくと便利です。今回は念のため本体の方を探してください。

2. ブラウザ本体のアイコンをダブルクリックすると、起動し始めます。

NetscapeCommunicatorを初めて起動する場合は設定の画面が表示されます。画面の通りに設定を行うだけですのでそれほど難しい事はありません。適当に設定を行っても後で変更が可能です。

設定方法に関してはODNのFAXBOXにてご用意しています。

お持ちのNetscapeのバージョンのものをご覧ください。

BOXナンバー 552 NetscapeCommunicator4.0x 設定マニュアル(メール&ニュース)

BOXナンバー 553 NetscapeCommunicator4.5x 設定マニュアル(メール)

アドレス(URL)を入力し、色々なホームページを見てみる

無事にブラウザが起動すると、あらかじめ設定してあるホームページが勝手に表示されます。

まず、最初のホームページが見えないとなると、何か設定などに問題があるかもしれません。

トラブルシューティングをご参照ください。

最初にあらかじめ設定してあるホームページが表示された場合は、念のため他のホームページが見れるかを確認してください。以下にホームページのアドレスを参考として載せます。

ODNのホームページ <http://www.odn.ne.jp/>

アップルコンピュータのホームページ <http://www.apple.co.jp/>

ヤフーのホームページ <http://www.yahoo.co.jp/>

アドレス入力の方法ですが、いくつかあります。一番わかりやすいと思われる方法は、ブラウザを起動すると画面の上部に、Netscapeの場合は「場所」、InternetExplorerの場合は「アドレス」という名称でアドレスを入力する横長の枠があるはずですが。そこにはあらかじめ設定されているアドレスが入っていると思いますので、それを消していただいて入力してください。入力が出来ましたら、キーボードのreturnを押していただければそのアドレスのホームページを開きにいきます。